

# 行財政改革実施計画・行動計画票

[平成 22 年 8 月 2 日 提出]

No.	2	実施済み						
基本方針	1 財政の健全化					担当課名	財政課	
重点項目	1 財政健全化等の策定							
取組項目	2 公債費適正化計画の策定							
経過・現状 (H17.4.1現在)	・決算後(6月末)に策定する。 ・地方債残高; 40,013,263千円 (H16末現在高)							
推進スケジュール	H17 実施	H18	H19	H20	H21	目標年次	平成 17 年度	
実績評価	A 計画どおり	A 計画どおり	A 計画どおり	A 計画どおり	A 計画どおり	達成年次	平成 17 年度	
行動概要	目標	公債費適正化計画を策定し、公債費の適正化を図る。						
	期待される効果	・公債費負担を計画的に管理し、公債費の平準化及び適正化を図る。 ・起債制限比率はH20に17.9%となる見込みであるが、繰上償還及び借換債の発行により、15.6%に抑制。さらに、H21年度以降14%以下に抑制する。						
	必要性問題点	・財政健全化計画を遵守し、事業の選定を行う。 ・経済情勢の変化(金利の動向)に伴う新発債の償還額の増加。						
	対象	全職員						
	手段	年度	実施内容・予定時期				効果額合計( 0 千円)	
		17年度 (実績)	・公債費適正化計画の策定(7月1日) ・繰上償還額; 473,288千円 ・新発債発行額(普通建設事業); 960,200千円 ・実質公債費比率; 17.6% ・起債制限比率; 15.3%				目標数値	起債制限比率 15.5%
	18年度 (実績)	・公債費適正化計画のローリング(12月26日) ・新発債発行額(普通建設事業); 531,880千円 ・借換債の発行による公債費の平準化; 4,064,400千円 ・実質公債費比率; 17.9% ・起債制限比率; 14.8%				目標数値	起債制限比率 16.8%	
						効果	歳入( 千円) 歳出( 千円)	
	19年度 (実績)	・公債費適正化計画のローリング(12月26日) ・新発債発行額(普通建設事業); 627,300千円 ・実質公債費比率; 17.2% ・起債制限比率; 13.8% ・繰上償還額; 182,586千円				目標数値	起債制限比率 16.2%	
						効果	歳入( 千円) 歳出( 千円)	
20年度 (実績)	・公債費適正化計画のローリング(12月26日) ・新発債発行額(普通建設事業); 887,400千円 ・実質公債費比率; 16.6% ・起債制限比率; 13.4% ・繰上償還額; 125,315千円				目標数値	起債制限比率 15.6%		
					効果	歳入( 千円) 歳出( 千円)		
21年度 (実績)	・公債費適正化計画のローリング(12月) ・新発債発行額(普通建設事業); 1,352,900千円 ・実質公債費比率; 16.1% ・起債制限比率; 13.2% ・繰上償還額; 250,638千円				目標数値	起債制限比率 13.8%		
					効果	歳入( 千円) 歳出( 千円)		
関係例規等	名称	新上五島町公債費適正化計画				改正時期		